

なごやを「ワクワクどきどき」のまちに！

2015 名古屋消費生活フェア出展報告



2015/11/8(日)

名古屋市栄 オアシス 21 にて



11月8(土)9(日)に開催された名古屋市消費生活フェアに、今年もCANはブース出展しました。例年と違って初日は、通常の消費生活フェア、2日は子ども向けの企画となりました。1日目には、気候変動(地球温暖化)と低炭素都市をめざす「なごや戦略」を取り上げ、パネル展示とアンケートによる対話を実施しました。2日目は、紙工作によるジオラマ、「ワクワクどきどき」のまちづくりを子ども達と一緒にしました。

「持続可能な低炭素都市なごや」を

11/8(土)一日で、155名の方と対話できました。
以下、対話アンケート結果です。

一部、温暖化懐疑論の方がいるものの多くの方は気候変動(地球温暖化)問題を認識し危機感を持っていました。

1. 気候変動・地球温暖化について

「現在、パリにおいてCOP21が開催されて気候変動対策が話しあわれようとしています。温暖化問題についてあなたはどのように思いますか？」という問いかけに対し、

- a. 地球温暖化が進んでいることに危機感をもっている。
..... 96%
- b. 地球温暖化が始まっていることを知らなかった。
..... 1%
- c. 地球温暖化は、「予測」であって事実だとは思わない。
..... 3%

という結果となりました。



2. 「低炭素都市 2050 なごや戦略」について

「名古屋市は、「低炭素都市 2050 なごや戦略」において、2050 年には、CO2 排出量の大幅削減をめざしています。この取り組みをあなたどう思いますか？」という問いかけに対し

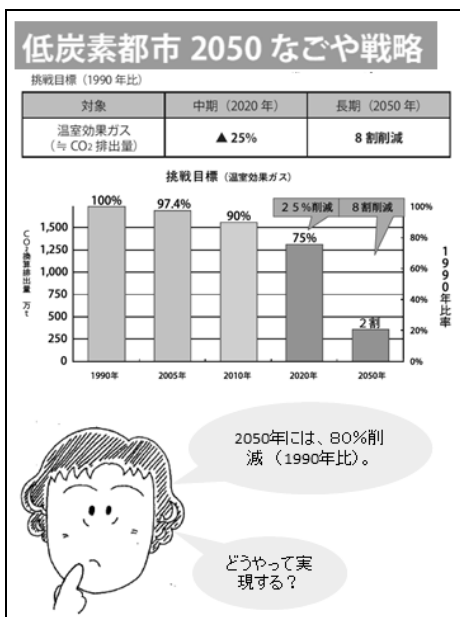
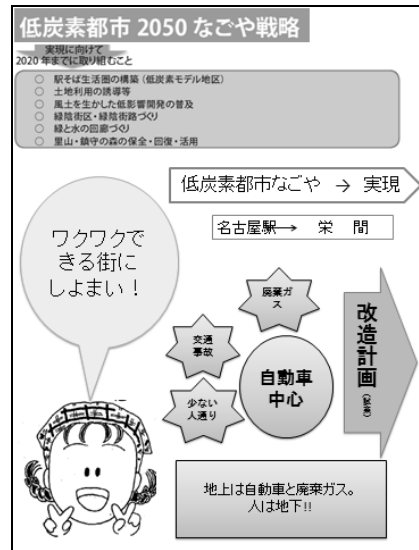
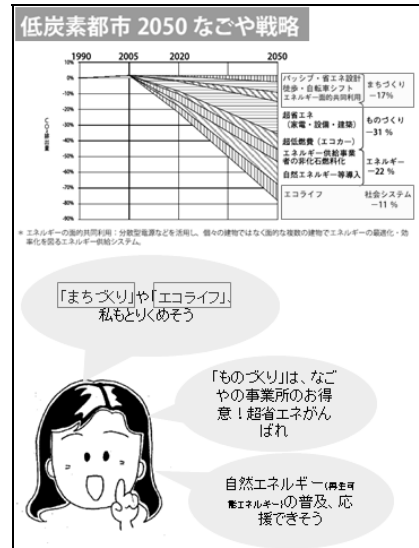
- a. 「なごや戦略」があることを知っていた。いいことだと思う。 26%
- b. 「なごや戦略」があることを知らなかった。いいことだと思う。74%
- c. 「なごや戦略」は、必要ない。力を入れて取り組むことではない。 0%
- d. その他、「なごや戦略」についてご意見があれば自由にお書きください。 0%

と言う結果になりました。

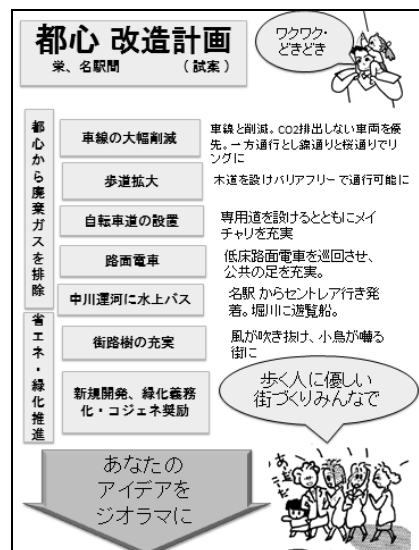
「取り組む必要はない」は、0%。回答者全員が「いいことだ」と答えましたが、7 割の方が知らなかったと答えています。「なごや戦略」は、市民参加で魅力あるまちづくりを行う原動力となります。市役所は積極的に広報、推進すべきです。

* 参考「低炭素都市 2050 なごや戦略」

名古屋市は 2009 年「低炭素都市 2050 なごや戦略」を策定。2011 年には、「実行計画」を発表している。その戦略は、2050 年には、名古屋市内から排出される二酸化炭素量を 80%削減(1990 年比)をめざすものです。

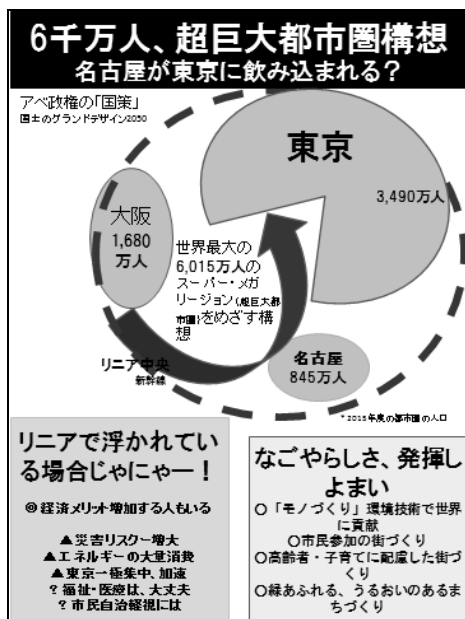


CANは、「ワクワクできる街づくり」「都心改造計画」を次のように提案しました。



あなたのアイデアをと募集したところ

- ・子どもと高齢者が楽しく生活できる名古屋市。
 - ・明るくて思いやりの心を持つ町にしたいO. K!!
 - ・公園などに木がたくさんある町。
 - ・市の入り口に安い駐車場を。車の乗り入れ減らして。
 - ・大きい道(車道)を活用して、自転車や緑道を増やしてほしい。
- などの意見が寄せられました。



3.超巨大都市圏(東京+名古屋+大阪)構想をどう思いますか？ * 超巨大都市圏=スーパーメガリージョン

「リニア中央新幹線により人口 6 千万人の超強大都市圏が推進されようとしています。あなたどう思いますか？」との問いかけに

- a. 「夢」のようだ。世界最大の超巨大都市圏は、大きな経済効果をもたらす。43 人
- b. 「悪夢」になりかねない。巨額費用を投じる開発は、巨額の負債を残すだけだ。「負の遺産」をこれ以上増やしてはいけない。(リニア中央新幹線だけで 8 兆円以上)43 人
- c. 巨大化は災害に弱い。災害リスクを拡大するこれ以上の集積・集中は危険だ。36 人
- d. 巨大都市はエネルギーを大量消費する。リニア中央新幹線もエネルギーを大量消費(現行新幹線の 3 倍以上)し問題だ。41 人

- e. 地域と自治がキーワードだ。高齢化や少子化など福祉・医療・教育の課題に優先して取り組むべきだ。市民参加でこそ解決できる。50 人
- f. 環境破壊をこれ以上してはならない。自然環境との調和・共生こそ日本の伝統ではなかったのか。48 人
- g. 超巨大都市圏は、東京に名古屋が吸収されてしまうだけだ。16 人
- h. その他、あなたのご意見を自由にお書きください。4 人

リニア中央による超巨大都市圏構想(スーパーメガリージョン)について、「夢」と「悪夢」と答えた方が、偶然にも同数でした。

巨大化による災害リスクの増大、エネルギーの大量消費に対する危惧、環境破壊への危惧も多数ありました

なによりも一番多かったのが「地域と自治がキーワード」「高齢化や少子化、福祉・医療・教育の課題に優先して取り組むべき」でした。行政が今何を最優先に取り組むべきか、これが名古屋市民の意志ではないでしょうか。

市民参加で今こそ気候変動対策、CO2 の大幅削減、減災都市づくりを

気候変動(地球温暖化)による、自然災害の多発に私達は備えなければなりません。スーパー台風・風水害対策。それに巨大地震対策が加わります。市民の「命と健康」「財産」を守る災害に強い都市づくりと、低炭素都市作りは、重なる所が多いのです。環境への不可を低減し持続可能をめざす、多様化・分散化・自立は、温暖化対策と災害に強いまちづくりに繋がります。逆に巨大化・集中化は、エネルギーを浪費し、環境への負荷を大きくし、災害に脆弱です。

キーワードは市民参加。意志表示をきちっと行い、営みの場である「私達のまち」を、希望あるワクワクできどき出来るまちに創っていきましょう。「参加」「民主主義」が私達に問われています。

(文責 大村昌宏)